
支 部 欄

京 都 支 部 ・ 京 星 會 だ よ り (九 月)

郊外の野に萩が色づき、亂れ咲く秋草に虫の音が繁く、清爽の秋は訪づれました。空は冴え、氣は澄み、星に親しむによく、燈下に書をひもとくによく、趣味を楽しむのに最も良い時季となりました。昨年九月京都のさゝやかな星の友の集ひとして生れた京星會も、こゝに創立壹週年を迎へ、今では四十名の眞摯なる同好者の團體として、日々理想への歩みを進めてゐます。創立壹週年の意義深き月として次の事業が行なはれました。

○會誌「京星」九月號發行 卷が改まり、表紙の色や意匠を變へ、扉等に新しい氣分を盛つた「京星」九月號が、秋の讀物號として九月一日發行されました。内容は天文隨筆、初歩の觀測と研究、會と會員の消息等で四十六頁のもの、隨想中特に倉敷天文臺小山秋雄先生の文を飾らせて戴きました事を誇とします。京星會の生立ちをまとめる「創立壹週年記念誌」は十月下旬に發行される事となりました。

○昭和拾年度總會開催 創立壹週年を迎へ意義深き總會が九月八日午後七時より會員金田弘倫氏宅で開かれました。大阪より出席された方もあり、出席者十六名、第壹年度會務會計報告、會員の希望意見發表、會則制定、役員改選等あり、終つて茶話會に移り、十一時盛會裡に閉會しました。

○天文映畫の夕 九月二十日夜京日講堂で「天體の驚異」の映寫、原田三夫氏其他の講演があり、十七日その通知が「速報」で發せられ、當日は徽章をつけた十餘名の會員が會場内で會合されました。

○會員所有天文圖書目錄完成 圖書部の事業として計劃された全會員所有の全天文關係の總目錄が、會員への照會調査を終り、内容別に分類整理され、遂に完成しました。圖書の種類は二百種を越へ、その冊數は天界等を一冊宛に數へれば、千數百冊に達し、分散せる天文圖書館として堂々たる内容を備へてゐます。この總目錄は記念誌の附録として、印刷全會員に配布されます。同市内居住といふ事が大きい條件をつくり、會員相互の親交によつて、この目錄の働く處は今後大きい期待が掛けられます。